

蒲郡市制施行 65 周年  
生命の海科学館開館 20 周年  
記念講演会

# 南極大陸に挑む

～やまと隕石発見 50 周年～



南極隕石（隕鉄）が裸氷の上に落ちている様子

## なぜ南極で多数の隕石が発見されるのか？

1969 年 12 月 21 日、南極・昭和基地の南方にあるやまと山脈で、日本の若い雪氷研究者が、氷の上で 9 個の隕石らしい石を採集した。日本に持ち帰り調べた結果、全て隕石であった。この発見は、私たちに南極で多数の隕石が採集される可能性を教えてくれた。今までに日本南極観測隊は合計 17,000 個（2012 年現在）の隕石を採集している。世界では既に 5 万個近い南極隕石が発見されている。その中にはアミノ酸を含む炭素質隕石、月や火星から飛んできた隕石も含まれている。

南極隕石は、氷河が山脈によりせき止められる、標高 1500m 以上の高地で発見される。このような高所では、夏でも気温が $-20^{\circ}\text{C}$ 以下で、風も強く、クレバスも多い。そのため隕石探査には常に困難が伴い、クレバスへの滑落等の大きな事故も発生している。やまと山脈と南極サウスビクトリアランドでの隕石探査と関連する自然について紹介する。

### 講師略歴



1974 年 秋田大学鉱山学研究所（修士課程修了）  
1976 年 国立極地研究所・助手（地学グループ）  
1982 年 理学博士（東北大学）  
1995 年 国立極地研究所・准教授  
2013 年 退職

専攻：岩石・隕石磁気学、無人航空機の開発  
（岩石や隕石の持つ磁気から、 Gondwana 大陸や、原始惑星の進化の様子の研究。南極大陸の磁気異常を観測する無人航空機（ドローン）の開発等）  
共同研究：NASA ゴダード宇宙航空センター、チュービンゲン大学（ドイツ）、ブラジル中央物理研究所等  
南極での活動：越冬隊 2 回、夏隊 3 回、外国基地 8 回  
1974-1976：第 16 次南極観測隊（隕石探査）、1977-1979：米国・マクマード基地（2 回の隕石探査・古地磁気学研究）等

2019

12 22

SUN

11 時～12 時

参加費無料

\*事前申し込み不要です。直接会場へお越しください。

講師

元国立極地研究所・准教授  
**船木 實 さん**

講師による  
展示解説

13 時 30 分から 20 分程度、  
3 階展示室で展示解説を開催します。  
\*展示室観覧料が必要です。

蒲郡市制施行 65 周年記念

地球 46 億年、あなたにつながるストーリー



蒲郡市 生命の海科学館

◀◀◀ がまごおりしいのちのうみかがくかん

〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17 番 17 号

<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kagakukan/>

お問い合わせ TEL: 0533-66-1717

開館時間  
休館日  
観覧料

9:00～17:00  
(入館は 16:30 まで)

毎週火曜日

年末年始(12/29～1/3)

\*火曜日が祝日の場合は翌日休館

\*学校長期休暇期間は開館

高校生以上 500 円 (300 円)

小・中学生 200 円 (100 円)

\*観覧料( )内は 30 名以上の団体料金

\*蒲郡市在住の方は市民利用証提示で無料

